

第3期 東社協3か年計画（平成25~27年度新規重点事業計画）事業

「生きる力（生きていく力）」を高める福祉教育（市民学習）」の実践

目的

東社協がこれまで蓄積している福祉教育やネットワークを活用して福祉教育（市民学習）を推進することで、子どもたちが身近な地域での福祉参加をすすめ、人との関わりを通じた自己有用感を発見し、自信をもって社会の一員として生きていくことをめざす。

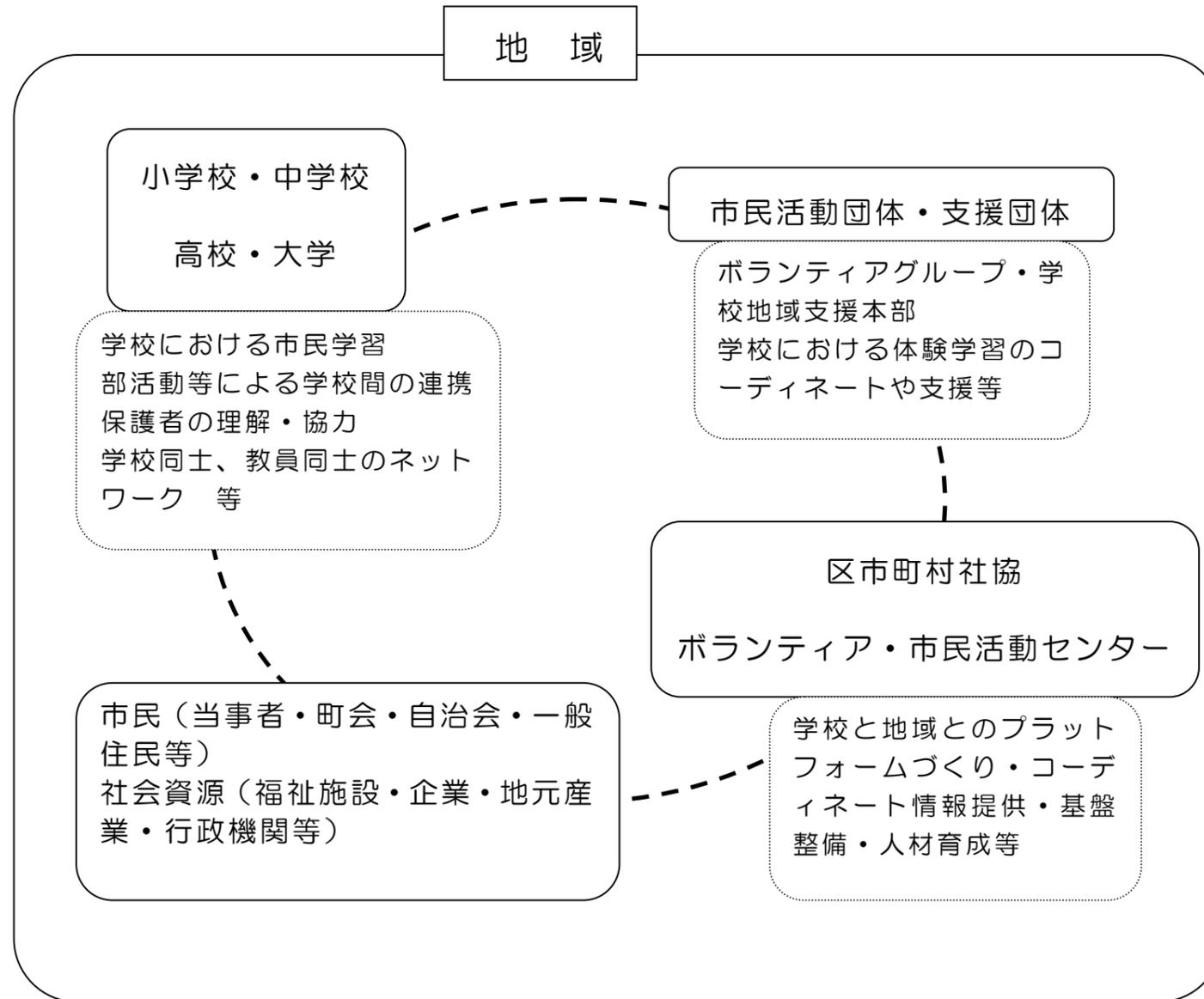
市民学習とは

良き市民になるために学び続けること

市民学習は、社会の中の個人の幸福と尊厳、そして平等であることと公正であることを実現するために必要な力を身につける学び。

社会の中で起こっている多くの事柄について、何よりも主体的・体験的に参加したり、観察や調査、実習、実技などを通して、肌で実感し、それを振り返り、変わっていく自分を発見したりすることによって、市民として必要な力が養われる。

地域



実態調査
モデル検討・普及
プログラム開発
教材の提供等

東京ボランティア・市民活動センター（東社協）

事業展開のイメージ（平成 25 年度～27 年度）

【現状】

- 脱ゆとり教育、学習指導要領の改定による総合学習の時間の確保が難しい。
- 都立高校「奉仕」が発展的に拡大し、24 年度から防災教育が推進される。道徳教育の充実とキャリア教育の導入が予定される。

検討委員会

- 実態調査の検討
- 継続的教育的取組みの検討
- 地域づくり（プラットフォーム）の検討
- 学校と地域をつなぐ人材等の検討
- プログラムの立案
- モデル校の公募・選考・継続的支援
- プログラムの教材開発
- 学校、地域に向けた説明会（研究協議会）の開催
- 大学ボランティアセンター等の連絡会議の開催

実態調査

モデル校

教材開発

説明会（研究協議会）

大学VC

平成 25 年度「生きる力（生きていく力）を高めるため福祉教育（市民学習）」

年間スケジュール

事業名	年度目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 生きる力（生きていく力）を 高めるため福祉教育（市民学 習）の実践	(1)現時点での市民学習実践の実態調 査を行い、それをもとに学校等にお ける市民学習の推進方策を検討す る。 (2)平成 26 年度以降の取組みに向け てモデル校の選定を行うとともに、 教育プログラムに関する教材の基 本理念を検討する。	← 委員会の設置準備 →			委員会① 実態調査 内容の検 討等	← 実態調査・まとめ →			委員会② モデル校 公募要領 の検討等	説明会 (協会)の 開催 大学VC 連絡会議 の開催	委員会③ モデル校 の決定・ プログラ ムの検討 等	← モデル校の公募 →		委員会④ 教材の基 本理念の 検討等